

生産事業戦略

2022年5月18日

常務取締役 生産事業部長

小林 京悦



目次

1 活動と方針

2 損益推移

3 ダイアライザと主要製品の生産状況

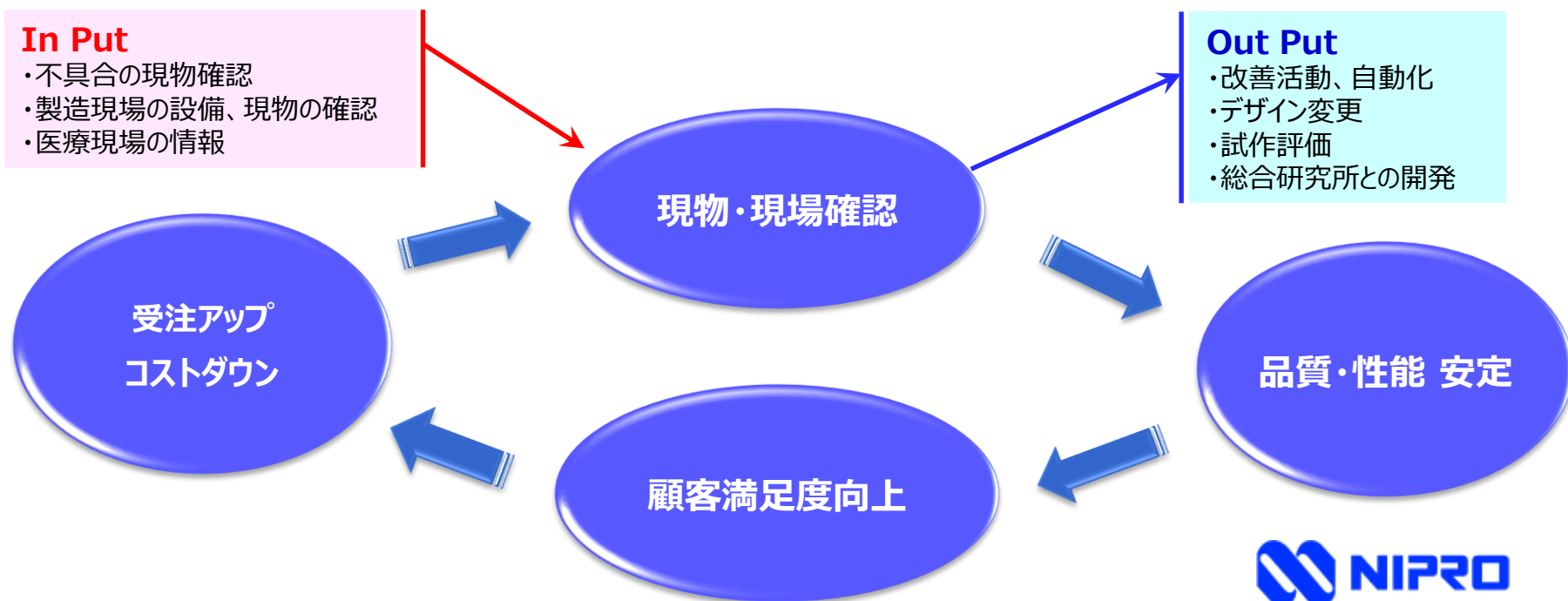
4 トピックス

生産事業部の活動方針

テーマ； “現場第一主義”

■ 方針

- ✓ 現場第一主義に基づき、現物・現場確認による合理化及び改善活動の推進と品質の安定を行い、製品顧客満足度を上げ、受注増に結び付けコストダウンを行う。



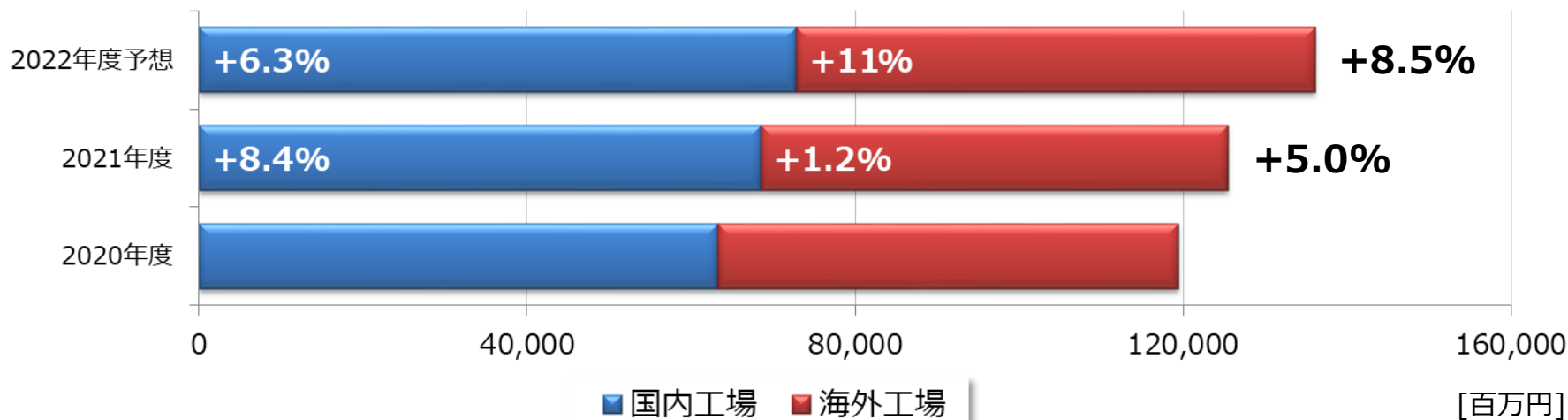
損益推移 ; 売上高

■ 2021年度 ; 前年対比+5.0%増収

- ▶ 海外工場では、ロックダウンの影響を受けたが前年と同程度 +1.2%。
- ▶ 国内工場では、ワクチン用シリンジなど生産、生産設備売上増加 +8.4%。

■ 2022年度 ; 前年対比+8.5%増収予想

- ▶ 海外工場では、主力工場での主要製品の生産増加等 +11%。
- ▶ 国内工場では、ダイアライザ、生産設備売上増加など +6.3%。



※ 売上高は、関係会社・内部売りを含む
※ %は事業部合算での対前年増減

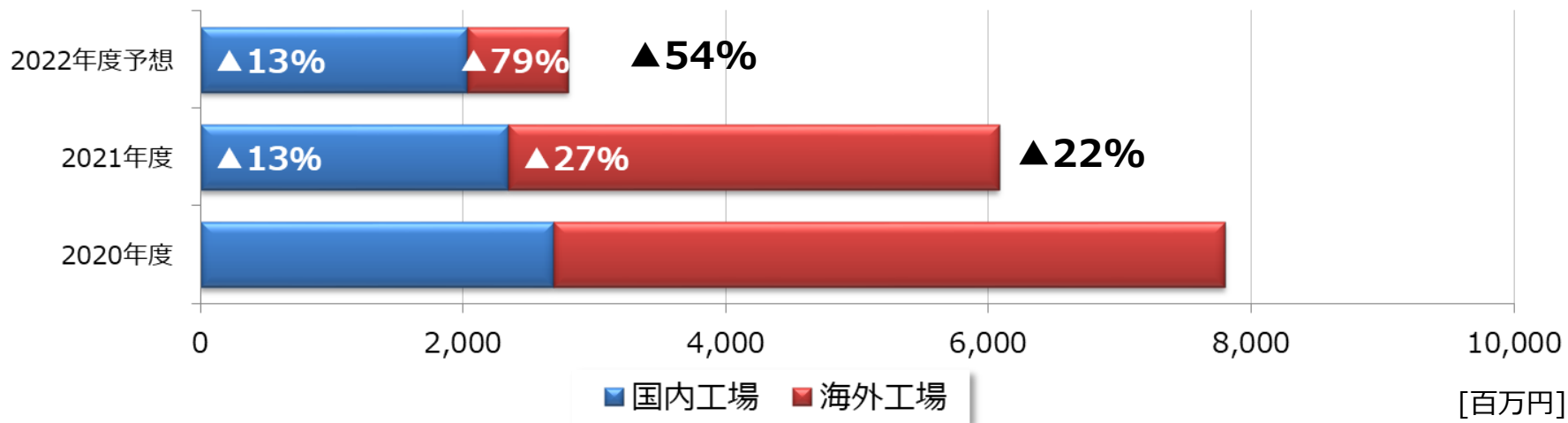
損益推移 ; 営業利益

■ 2021年度 ; 前年対比▲22%減益

- ▶ 海外工場では、工場の操業停止、原材料費等の高騰等により▲27%。
- ▶ 国内工場では、原材料費、電力・光熱費高騰もあり▲13%。

■ 2022年度 ; 前年対比▲54%減益

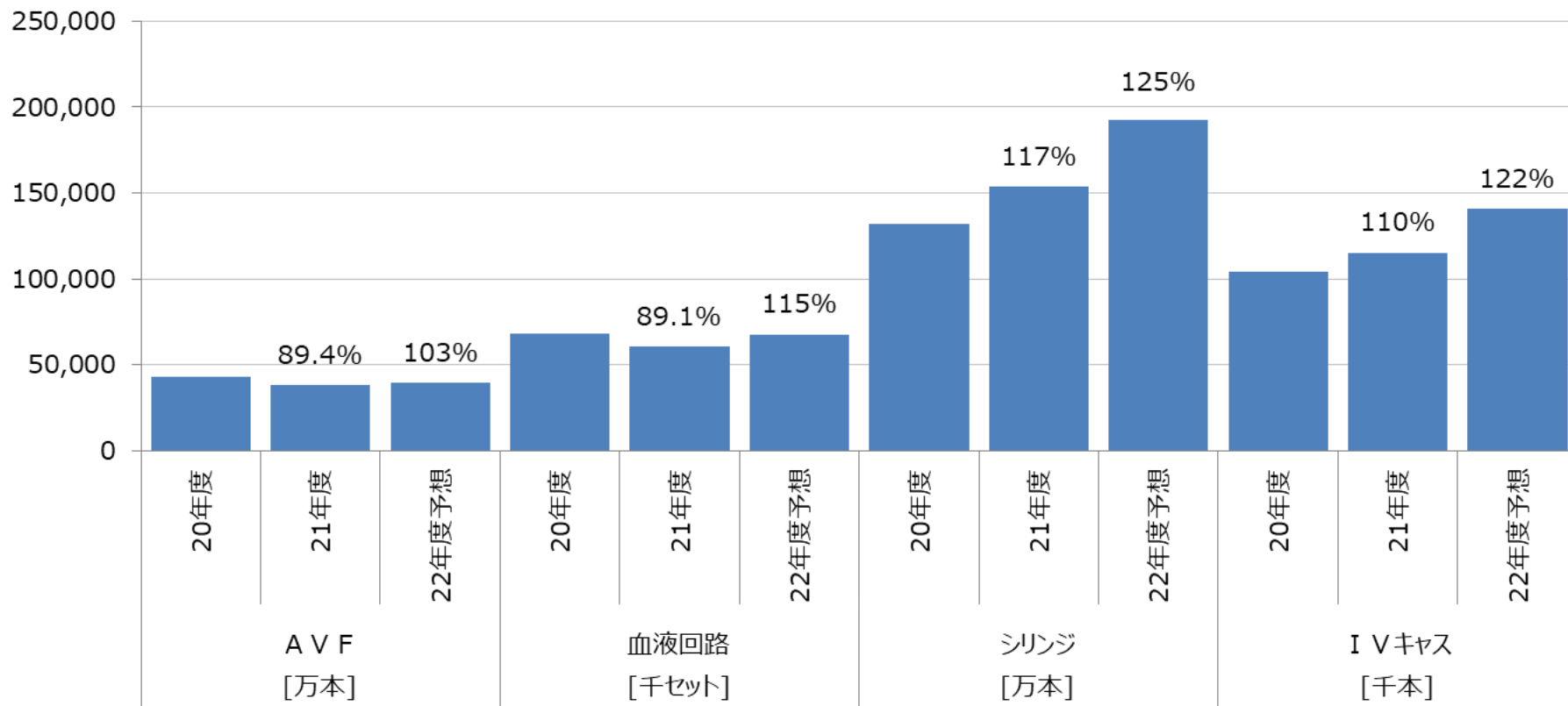
- ▶ 海外工場では、新ライン稼働に伴う償却費、原材料費等の増加により▲79%。
- ▶ 国内工場では、原材料費、電力・光熱費等の増加により▲13%。



- ※ 売上高は関係会社・内部売りを含む
- ※ 営業利益はのれん除く

主要製品の生産状況

- ▶ 2021年度；ワクチン接種用シリンジで生産数が増加した一方ロックダウンに伴う一部工場の操業停止により透析関連製品で生産数が減少。
- ▶ 2022年度；引き続きワクチン接種用シリンジを筆頭に生産数増加を予想。



トピックス

■ 新型コロナウイルス感染拡大の影響

- ▶ 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、各地の工場で操業停止。現在の中国・上海市ロックダウンに伴い上海工場は操業停止中(5/12現在)。
- ▶ 各工場においては感染対策を緩めることなく、生産活動の維持に尽力。

	2020年												2021年												2022年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
上海工場	■■■																													■■■■■
	1月28日～2月11日(15日間)																								4月1日～5月×日(未定)					
合肥工場	■■																													
	1月30日～2月9日(11日間)																													
インド工場			■■■■																											
	3月23日～4月17日(26日間)																													
インドネシア工場									■■■																					
													9月15日～20日、28日～10月11日(合計20日間)																	
タイ工場																		■■■												
													6月3日～9日(7日間),徐々に生産開始																	
ベトナム工場																		■■■■■■■■■												
													7月15日～10月13日(3ヶ月間)																	

トピックス

■ 環境マネジメントシステム(ISO14001)の取得状況

▶ 生産事業部の各工場においては、環境負荷の低減を通じ持続可能な社会作りに努め、次世代に住みよい地球と豊かな社会を残すために環境マネジメントシステムの承認取得を推進中。

工場名	取得状況
ニプロ大館工場	2014年1月登録
ニプロ医工	2017年7月登録
タイ工場	2022年6月登録予定
ベトナム工場	2024年10月登録予定
上海工場	2022年12月登録予定
合肥工場	2022年12月登録予定
インド工場	2022年9月登録予定
インドネシア工場	2022年4月登録